

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 3 月 28 日(2022.3.28)

【公開番号】特開 2022-16190(P2022-16190A)

【公開日】令和 4 年 1 月 21 日(2022.1.21)

【年通号数】公開公報(特許)2022-011

【出願番号】特願 2020-119537(P2020-119537)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 3 月 17 日(2022.3.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 の部分と、第 2 の部分と、第 3 の部分と、を備えた構造部を有する遊技機であって、
前記第 1 の部分は、当該第 1 の部分に供給された遊技球の流路を備え、
前記第 2 の部分は、遊技球を前記第 1 の部分へ誘導する流路を備え、
前記第 3 の部分は、前記第 1 の部分の流路を通過した遊技球の入賞を検出可能な検出手
段を備え、

前記第 1 の部分は、
遊技球を第 1 の流路又は前記第 1 の流路とは異なる第 2 の流路へ振り分け可能な第 1 の
振分部と、

30

前記第 1 の振分部を転動する遊技球の転動方向を変更可能な第 1 の転動障害部と、
前記第 1 の振分部に接続される第 3 の流路又は前記第 3 の流路とは異なる第 4 の流路に
振り分け可能である前記第 1 の振分部とは異なる第 2 の振分部と、

前記第 2 の振分部を転動する遊技球の転動方向を変更可能である前記第 1 の転動障害部
とは異なる第 2 の転動障害部と、を備え、

前記第 1 の振分部、前記第 2 の振分部は、前記第 3 の部分に対して移動可能であり、
前記第 2 の転動障害部は、前記第 2 の振分部を転動する遊技球の転動方向を変更可能な
ように、壁部から前記第 2 の振分部を転動する遊技球の転動経路上にせり出すように形成
され、

前記壁部は、前記壁部を介して前記第 2 の振分部を転動する遊技球を視認可能な視認部
を有する

40

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

本発明に係る遊技機は、第 1 の部分と、第 2 の部分と、第 3 の部分と、を備えた構造部を
有する遊技機であって、前記第 1 の部分は、当該第 1 の部分に供給された遊技球の流路を

50

備え、前記第 2 の部分は、遊技球を前記第 1 の部分へ誘導する流路を備え、前記第 3 の部分は、前記第 1 の部分の流路を通過した遊技球の入賞を検出可能な検出手段を備え、前記第 1 の部分は、遊技球を第 1 の流路又は前記第 1 の流路とは異なる第 2 の流路へ振り分け可能な第 1 の振分部と、前記第 1 の振分部を転動する遊技球の転動方向を変更可能な第 1 の転動障害部と、前記第 1 の振分部に接続される第 3 の流路又は前記第 3 の流路とは異なる第 4 の流路に振り分け可能である前記第 1 の振分部とは異なる第 2 の振分部と、前記第 2 の振分部を転動する遊技球の転動方向を変更可能である前記第 1 の転動障害部とは異なる第 2 の転動障害部と、を備え、前記第 1 の振分部、前記第 2 の振分部は、前記第 3 の部分に対して移動可能であり、前記第 2 の転動障害部は、前記第 2 の振分部を転動する遊技球の転動方向を変更可能なように、壁部から前記第 2 の振分部を転動する遊技球の転動経路上にせり出すように形成され、前記壁部は、前記壁部を介して前記第 2 の振分部を転動する遊技球を視認可能な視認部を有することを特徴とする。

10

20

30

40

50